

しあわせ実感男女フォーラム

テーマ お互いの個性 認め合って～あなたがいきる、わたしもいきる～

とき

11月5日(土)

12:50～映画 1回目
15:30～講演
18:30～映画 2回目

ところ

県児童会館 子ども劇場

参加無料 託児・手話通訳あり

映画

阿弥陀堂だより

寺尾聡・樋口可南子出演

字幕付き



1回目 12:50～15:10
2回目 18:30～20:30

心の病がきっかけで、夫の孝夫(寺尾)と共に信州の山間にある村に診療医としてやってきた美智子(樋口)。村の人々とふれあい、自然に抱かれて暮らすうちに、いつしか生きる喜びを知り、人生について再確認するのだった…。

今年で15回目となる「しあわせ実感男女フォーラム」。今回は映画上映と講演を行います。これをきっかけに、身近なところから男女共生社会()を考えてみませんか。同時企画として、男女共生資料展も開催します。

映画・講演の参加には入場整理券が必要です。

男女共生社会=性別、年齢、職業、身体状況、国籍などにかかわらず、すべての人がお互いの人権を尊重しながら共に生きていく社会

講演

15:30～17:30

お笑いジェンダー論

～人と人とのかがやく未来へ～

講師: 瀬地山角さん
東京大学助教授。おもな著書に「お笑いジェンダー論」「東アジアの家父長制」など



女性は家事をして当たり前? 男性は家族のために必死で働かなければならない?

身近な「?」からジェンダー(文化的・社会的につくられた性差別)に気づき、「男女共生社会」を一緒に考えてみませんか。



映画・講演の入場整理券の申し込み

市役所2階の「男女共生・次世代育成支援室」へ直接おいでになるか、ファクス、はがき、Eメールに、右の必要事項を書いてお申し込みを。団体(10人以上)の場合は、電話でご連絡ください。定員になりしだい締め切り。

必要事項

申し込み

郵便番号・住所 氏名 電話番号 「1回目の映画のみ」「1回目の映画と講演両方」「講演のみ」「講演と2回目の映画両方」「2回目の映画のみ」のどれを希望するか 託児希望の有無 2人以上で申し込む場合は、全員分を記入

〒010-8560 秋田市役所男女共生・次世代育成支援室
tel(866)2141 ファクス(866)2405
Eメール:ro-plmw@city.akita.akita.jp



ベトナム民族アンサンブル

問い合わせ

秋田公立美術工芸短期大学
事務局総務課tel(888)8100

秋田公立美術工芸短期大学
開学10周年記念学内コンサート

入場
無料

ベトナム民族アンサンブルと
ソプラノ歌手・雨谷麻世



雨谷麻世さん

10月16日(日)午前11時～正午 美術工芸短大体育館

ベトナムの優秀芸術家による民族音楽・舞踊・歌の神秘と幻想の世界をお楽しみください。ソプラノ歌手の雨谷麻世さんも特別出演。その美しく澄んだ歌声をお聴きいただきます。当日直接会場へどうぞ。

健康のつどい



10月10日(月) 参加無料

八橋陸上競技場とその周辺 午前10時～

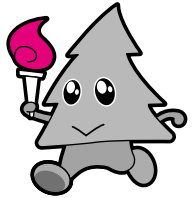
ユニカール 空手道 スポーツ東洋療法
フライングディスク スポーツチャンバラ
太極拳 ビームライフル エアロビクス
ターゲットバードゴルフ 体力テストなど
フリーマーケット(八橋陸上競技場前)
県立体育館の一般開放
スポーツ科学センター(旧県立スポーツ会館)
でのスタミナ診断など

ニュースポーツ交流会(見学)

ニュースポーツを自由に見学できます。時間はいずれも午前9時から。種目はソフトバレー(市立体育館)、パウンドテニス(同)、ミニテニス(土崎体育館、茨島体育館)、グラウンドゴルフ(太平山リゾート公園グラウンドゴルフ場)

問い合わせ スポーツ振興課tel(866)2247

これが炬火だよ!



炬火の名前を募集します!

平成19年の秋田わか杉国体の炬火(オリンピックの聖火にあたる火)の名前を募集します。炬火は国体開催前に県内9か所で採火され、そのうち秋田市では御所野の地蔵田遺跡で採火し、大会旗と一緒に市内をリレーする予定です採用されたかたにはスギッチグッズを進呈! 詳しくは国体局ホームページでも。

過去にはこんな名前がありました
まつしま灯道の火(松島町)
いしん前進・龍馬の火(高知市)
蔵のまち文化の火(川越市) など

応募方法

はがき、ファクス、Eメールに、炬火名とその理由、住所、氏名、電話番号を書いて、10月20日(木)(必着)まで、〒010-0973八橋本町六丁目12-1 秋田わか杉国体秋田市実行委員会 ファクス(866)2832 Eメール: ro-gna@city.akita.akita.jp

問い合わせ 秋田わか杉国体秋田市実行委員会tel(866)2830
ホームページ <http://www.city.akita.akita.jp/city/gn/na/newna/>

スギッチ情報局



あれは44年前...

秋田市国体局総務企画課tel(866)2830

伊藤武美さん(68歳・牛島) した。踊ったのはほんの十分間くらいだったかな。とにかくあの時は無我夢中で踊りました! 国体開催の年の春に、伊藤さんは地元の仲間八人と秋田市連合青年会の一員として開会式のイベントに参加することが決まり、大会までの数か月間、踊りの練習に励みました。練習はおもに日曜日。朝九時から夕方四時まで、厳しい練習が続いたそうです。「実はあんまり練習が厳しいもんだから、昼の休憩のあとに仲間と抜け出したこともあったんですよ」と笑って話す伊藤さん。

大歓声に包まれた興奮と感動。成功させたいという意気込みで厳しい練習を続けた日々。あつという間の十分間の中に、いろいろな思い出が重なります。伊藤さんの胸には、秋田国体のとても長い長い十分間が刻まれています。

長〜い思い出と なつた10分間...



半纏の袖に手を通したのは44年振り



牛島商店街で自転車販売業を営む伊藤さん。「たんすから出てきたんです」と紺色の半纏はんてんを手に、秋田国体の開会式で秋田音頭を踊ったときのことを話してくれました。「この半纏に白い半股引を履いて踊りま



一緒に踊った婦人会のかたと記念写真(伊藤さん所有)

藤さん。それでも当時指導してくれた先生には、今でも感謝しているそうです。そして迎えた開会式当日。抜けるような青空。伊藤さんたちは、一緒に踊る婦人会のかたがたとともに、八橋陸上競技場のサブグラウンドでドキドキしながら出番を待ちます。